

登録コード	UAB01600	開講年度	2026				
授業題目	哲学思想論AR				担当教員	篠原 成彦	
					副担当	護山 真也	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・6時限		
				授業形態	演習		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】		
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学, 2 5 UAカリ・総人社・人間文化学						
	【人間文化学】思想、歴史、社会、情報、言語、芸術など多様な側面を持つ人間文化に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する能力を有する。				哲学的対話の方法に関する大学院レベルの立論と批判的検討の能力を身につける。		
	【人間文化学】人間文化に関する文献・資料を収集・調査し分析・考察する人文学の伝統的な手法を身につけるとともに、他の学問分野の解析手法を併せて修得することによって、複雑多様化する現代社会の課題に柔軟な対応ができる応用力を有する。				哲学的対話の方法に関する大学院レベルの分析技術を獲得する。		
	【人間文化学】高度な言語運用能力とコミュニケーション能力を基盤として、多領域のステークホルダーと協働し、現代社会の課題に取り組みながら、独創的かつ多文化共生的な英知の創成と提案を行う力を有する。				哲学的対話の方法に関する大学院レベルの発想力と表現力を獲得する。		
(2)授業の概要	「意見を発信し、議論すること」および「実り多い討論の場を実現するために必要な技術」の習得を目指す。より具体的には、以下の内容に重点をおいた授業を行う。 1) ファシリテーションの基本となる技術の習得。(「批判的思考」の練習から、発声の仕方、座席配置の仕方、目線の取り方等の実践的技術までを含む。) 2) 具体的なテーマを設置したうえでの「哲学的対話」の実践的練習。 3) 「かならずしも哲学・倫理学を専門としない」生徒・市民にも積極的に参加してもらえるテーマの選定・準備の仕方。 以上の点を学ぶために、英語文献を基礎資料とした演習を行う。						
(3)授業計画	第1回：批判的思考と議論の作法（篠原・護山） 第2回：ファシリテーションの技術（篠原） 第3回：コミュニケーション・デザインの視点（篠原） 第4回：情報収集の仕方とその哲学的対話への活用（1）ウェブ上の情報の有効活用（篠原） 第5回：情報収集の仕方とその哲学的対話への活用（2）新聞紙政治面の情報（篠原） 第6回：情報収集の仕方とその哲学的対話への活用（3）新聞紙経済面の情報（篠原） 第7回：情報収集の仕方とその哲学的対話への活用（4）新聞紙社会面の情報（篠原） 第8回：情報収集の仕方とその哲学的対話への活用（5）新聞紙スポーツ面の情報（篠原） 第9回：情報収集の仕方とその哲学的対話への活用（6）新聞紙地方面の情報（篠原） 第10回：「哲学カフェ」について（その歴史・理論・実践の記録）（護山） 第11回：哲学カフェ型対話の実践（自己について）（護山） 第12回：哲学カフェ型対話の実践（死について）（護山） 第13回：哲学カフェ型対話の実践（幸福について）（護山） 第14回：哲学カフェ型対話の実践（宗教の価値について）（護山） 第15回：振り返りとまとめ（ピア評価の実践）（護山） 定期試験：行わない						
(4)成績評価の方法	理解度をチェックする中間報告（6割）と最終レポート（4割）で評価する。						
(5)成績評価の基準	成績評価の対象となる各項目について、(i) 熱心な態度と明確な貢献が際立っており、建設的かつ説得的な内容を備えた報告が提出されていれば「卓越している」。(ii) 熱心な態度と十分な貢献が認められ、適切かつ整合的な内容を備えた報告が提出されていれば「かなり上にある」。(iii) 真摯な態度とある程度の貢献が認められ、十分に妥当な内容を備えた報告が提出されていれば「やや上にある」。(iv) 妥当な態度とある程度の貢献が認められ、瑕疵のないまとめと論理性を備えた報告が提出されていれば「水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	自分の担当箇所の英語文献について事前に入念に準備し、演習の結果を受けて事後に修正を加えることは、最低限行ってください。そのうえで、担当箇所以外についても、教科書・参考書を熟読玩味することが必要です。						
(7)履修上の注意	英語文献を用います。相応の英語文献の読解能力を前提とします。単に話し合いをする授業ではない点に注意してください。						
(8)質問,相談への対応	以下のアドレスにメールを送ってください。 nshinoi@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	鷲田清一（監修）『哲学カフェのつくりかた』大阪大学出版会、2014年 The Stanford Encyclopedia of Philosophy, Center for the Study of Language and Information, Stanford University						
【参考書】	授業中に指示する。						